

奈良県感染症情報

平成 28 年 12 週(3 月 21 日～ 3 月 27 日)
 奈良県感染症情報センター(奈良県保健研究センター)
<http://www.pref.nara.jp/27874.htm> TEL:0744-47-3183

！！インフルエンザ警報発令中！！

◆ 定点把握感染症報告状況(定点当たり患者報告数の上位5疾患) ◆

順位	疾患名	奈良県			北部	中部	南部
		定点当たり	(前週)	増減			
1	インフルエンザ	11.65	(19.11)	↓	↓	↓	↓
2	感染性胃腸炎	4.44	(4.53)	→	→	↘	↓
3	A群溶連菌咽頭炎	1.47	(1.82)	↘	→	↘	↓
4	流行性耳下腺炎	1.35	(1.18)	→	→	↗	→
5	伝染性紅斑	0.26	(0.32)	↘	↓	→	↓

発生状況: **大流行** **流行** **やや流行** **少し流行** **散発** (疾患毎に、基準値を定めています。)

増減: 過去5週間平均数と比べたときの变化 **↑↑急増**、**↑増加**、**↗やや増加**、**→横ばい**、**↘やや減少**、**↓減少**

◆ 県内概況 ◆

インフルエンザ警報発令中 インフルエンザの患者報告数は、第9週以降減少を続けており、近府県についても本県と同様に減少しています。

感染性胃腸炎は、横ばいです。患者の便や嘔吐物には大量のウイルスが含まれていますので、処理方法や消毒方法を誤ると、感染を拡大させてしまうことがあります。適切な処理・消毒方法を行うようにしましょう。

流行性耳下腺炎は、近府県の中で最も報告数の多い状況が続いています。小児に多い感染症ですが、今週は成人からの報告が1例ありました。ウイルスを吸い込む(飛沫感染)、ウイルスの付着した手で目や口に触れてしまう(接触感染)と感染することがあります。手洗いやうがいを行い感染しないように注意しましょう。

❖ 小児科外来情報 ❖

北部地区(矢追医院)

先々週からインフルエンザは減少に転じている。ほぼB型が検出されている。感染性胃腸炎は、幼児でロタウイルスがみられるが、多くはない。

中部地区(岡本内科こどもクリニック)

インフルエンザは減少してきたが、外来数は激減と言う程ではない。
 感冒、流行性耳下腺炎、感染性胃腸炎、A群溶連菌感染症などが続いている。

南部地区(県立五條病院小児科)

インフルエンザの流行は落ち着いてきた。
 胃腸炎患者は例年より少ない。軽症呼吸器症状は多いが、遷延例ではアレルギーも混在、鑑別困難例もあり。
 ムンプスの地域流行は続いているが、やや下火。伝染性紅斑、伝染性単核球症が散見された。

❖ 定点把握感染症報告状況 ❖

平成 28 年 第 12 週 3 月 21 日 ~ 27 日

保健所別報告数	奈良県		北部		中部		南部	
	奈良市	郡山	中和(東)	中和(西)	内吉野	吉野		
インフルエンザ定点数	54	11	16	11	11	2	3	
インフルエンザ	629	117	190	118	149	26	29	
	(11.65)	(10.64)	(11.88)	(10.73)	(13.55)	(13.00)	(9.67)	
小児科定点数	34	7	10	7	7	1	2	
RSウイルス感染症	6			4	2			
	(0.18)			(0.57)	(0.29)			
咽頭結膜熱	8	1	2	2	3			
	(0.24)	(0.14)	(0.20)	(0.29)	(0.43)			
A群溶連菌咽頭炎	50	9	15	6	20			
	(1.47)	(1.29)	(1.50)	(0.86)	(2.86)			
感染性胃腸炎	151	28	39	33	49	1	1	
	(4.44)	(4.00)	(3.90)	(4.71)	(7.00)	(1.00)	(0.50)	
水痘	4	1	3					
	(0.12)	(0.14)	(0.30)					
手足口病								
伝染性紅斑	9	5		4				
	(0.26)	(0.71)		(0.57)				
突発性発しん	8	5	2		1			
	(0.24)	(0.71)	(0.20)		(0.14)			
百日咳								
ヘルパンギーナ								
流行性耳下腺炎	46	12	12	12	8	1	1	
	(1.35)	(1.71)	(1.20)	(1.71)	(1.14)	(1.00)	(0.50)	
眼科定点数	9	1	3	2	2	0	1	
急性出血性結膜炎								
流行性角結膜炎	2			2				
	(0.22)			(1.00)				
基幹定点数	6	1	2	1	1	1	0	
細菌性髄膜炎								
無菌性髄膜炎								
マイコプラズマ肺炎	2				2			
	(0.33)				(2.00)			
クラミジア肺炎								
感染性胃腸炎(ロタウイルス)	10	5	2		3			
	(1.67)	(5.00)	(1.00)		(3.00)			

❖ 全数把握感染症報告状況 ❖ ()は保健所別内訳

1類感染症	
2類感染症	結核6件(奈良市1、郡山2、中和2、吉野1)
3類感染症	
4類感染症	
5類感染症	劇症型溶血性レンサ球菌感染症1件(郡山1) 梅毒1件(中和1)

❖ 第12週のトピックス ❖

◆黄熱の発生 - 中国

<http://www.forth.go.jp/topics/2016/03301339.html>

※平成27年2月16日より桜井保健所と葛城保健所は統合され中和保健所となりました。
旧桜井保健所分は中和(東)、旧葛城保健所分は中和(西)として集計しています。

上段 : 報告数
(下段) : 定点当たり報告数 報告数÷定点数

年齢別報告数

年齢区分	年齢	0-5M	6-11M	1歳	2	3	4	5	6	7	8	9	10-14	15-19	20-29	30-39	40-49	50-59	60-69	70-79	80-	合計	累計
インフルエンザ	男	2	5	6	9	17	16	23	27	19	17	15	41	26	13	14	27	18	6	11	4	316	7170
	女		3	7	10	11	20	16	17	24	24	18	37	15	14	21	25	14	19	9	9	313	6923
RSウイルス感染症	男		1																			1	131
	女		1	2	1	1																	5
咽頭結膜熱	男			2	1		1															5	74
	女			1			2															3	80
A群溶連菌咽頭炎	男			2	2	5	3	3	4	4	3	1	2									29	417
	女			1	2	3	4	2	4		2		2									21	370
感染性胃腸炎	男	2	6	10	12	5	13	6	4	4	2	4	3		7							78	1267
	女	1	5	10	10	11	5	7	3	1	2	3	3	3	9							73	1140
水痘	男							1	1	1												3	68
	女										1											1	44
手足口病	男																						2
	女																						1
伝染性紅斑	男			1			1	1	1	1												5	151
	女					1	1	1	1													4	132
突発性発しん	男		1	2	1																	4	91
	女		1	3																		4	84
百日咳	男																						3
	女																						
ヘルパンギーナ	男																						1
	女																						1
流行性耳下腺炎	男				1	3	6	1	6	4	2	1	2									26	248
	女				1	3	4	4	3	2	1	1	1		1							20	211
急性出血性結膜炎	男																						1
	女																						1
流行性角結膜炎	男																						1
	女																						1
細菌性髄膜炎	男																						2
	女																						1
無菌性髄膜炎	男																						1
	女																						2
マイコプラズマ肺炎	男		1	1																		2	33
	女																						36
クラミジア肺炎	男																						
	女																						
感染性胃腸炎(ロタウイルス)	男		3	2																		5	40
	女		4		1																	5	30

❖注目疾患の動向❖ 全て定点当たり報告数

■ H28 ▲ H27 □ H26 〰 過去10年平均

